



徳成寺

寺誌から版

第167号2020年11月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

去る10/11に、おかげ様で副住職・超世が結婚致しました。

本来なら、真っ先にご挨拶すべきところコロナの影響もあり、一先ず

ご報告申し上げます。私の結婚当時、お坊さんの先生から「結婚それから

人生」とよく言われました。今までは子どもの立場ですが、これから夫

であり妻という新たなライフステージを迎えます。子を持てば、親の立場を

得ます。立場が人を育てることを「結婚それから人生」と教えられていたと

今にして思います。副住職がどんなふうに成長するのか、徳成寺が今後

どう創造されていくのか、とっても楽しみです。ご門徒の皆様はじめ

皆々様に、倍旧のご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

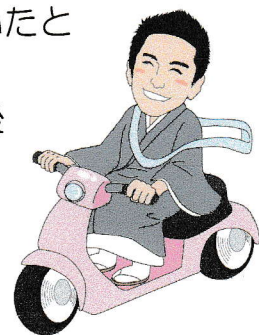
発行責任者

住職

大山健児

坊守

大山ひびみ



大山超世の耳を澄ませば

いつもお世話になっています、長男です。

突然ですが、この場を借りてご報告致します。この度、ご縁があり東京にいた時に知り合った女性と結婚することになりました。

優しく、おおらかで、とても料理が上手な方です。家族が増えますが、今後とも変わらぬお付き合いを頂けると大変うれしいです。

コロナ禍が落ち着いたら改めて皆さんに紹介する機会を設けたいと考えておりますので、続報お待ちください。よろしくお願いいたします。

写真は挙式前に撮った白無垢と白のお衣です。普段は黒ですが、この時ばかりは白の色衣だそうです。遠距離恋愛であることに加え、コロナ禍や式の前日に巨大台風に見舞われる等、困難なことも多かったのですが、どうにか親族で挙式を済ませました。慣れ親しんだ我が家とはいえ、仏前結婚式はとても緊張しました。

